

混雑予測し3密回避のAIシステム開発へ 10月の「枚方宿くらわんか五六市」で実証実験を予定

大阪工業大学（学長：益山新樹）情報科学部と枚方宿地区まちづくり協議会（会長：田中誓子）、枚方市（市長：伏見隆）が連携し、中規模イベント会場における来場者の「3密」を回避するAIシミュレーションシステムの開発に着手しました。スマートフォンのデータに基づいた混雑状況と来場者の行動予測から、数分先の混雑（来場者の分布）状況を予測します。同市で毎月開催され8000人近い来場者でにぎわう「枚方宿くらわんか五六市」で10月から実証実験を予定し、システムのパッケージ化を目指します。

【本件のポイント】

- 来場者分布から人の流れを予測し、3密を回避するAIシステムの開発に着手
- 10月から枚方市のイベントで実証実験を開始し、実際の運用を想定した開発を進める
- withコロナ社会でのイベント開催も見据え、システムをパッケージ化予定



約200店舗の出店がある「枚方宿くらわんか五六市」

新型コロナウイルス感染症のクラスター対策として、イベントにおいても3密を避けることが政府から強く要請されています。そこで、本学情報科学部は地域イベント「枚方宿くらわんか五六市」を実証の場として、来場者が持つスマートフォンの台数を検知し来場者の人数と分布を把握。人の行動に関する予測データと時間帯や店舗配置などの周辺情報から行動予測を行うアルゴリズムをプログラミングし、数分先の来場者分布を予測するAIシミュレーションシステムの開発を行います。システムによる混雑予測を来場者に提供することで、3密を避けることが期待できます。

また、新型コロナウイルス終息後も、混雑を避けることができるシステムとして、さまざまなイベントで使われることを目指しシステムをパッケージ化。混雑回避に人的リソースを割かない技術でスマート社会に貢献します。

なお、実証実験は10月11日（日）から段階的に実施する予定です。

■内容に関するお問い合わせ先

大阪工業大学 情報科学部情報知能学科（担当：尾崎敦夫 教授）

TEL：072-866-5384（不在の場合は広報室へ）

■本件発信部署・取材のお申し込み先

学校法人常翔学園 広報室（担当：田中、上田）TEL：06-6167-6208 携帯：090-3038-9887